

事務事業名 雲南ブランド化プロジェクト(うんなん幸あり月)		所属部 政策企画部	所属課 政策推進課
総合計画体系	政策名 (VI)推進計画・地域経営によるまちづくりの推進	所属G 雲南ブランド推進G	課長名 佐藤 満
	施策名 (39)計画的なまちづくり	担当者名 加藤雄二	電話番号 0854-40-1011 (内線) 3512
	目的 対象 施策 意図 計画的に目標を達成する。	予算科目 会計 款 大事業 大事業名 0 1 1 0 0 1 企業総務管理事業 項 目 中事業 中事業名 0 5 3 5 0 8 雲南ブランド化プロジェクト	
	基本事業名 (117)横断的プロジェクトの進行管理		
目的 対象 各部局にまたがる事業 意図 計画的に事業を推進する。			

1 現状把握[DO]

(1)事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (24年度～)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
市内の地域資源(人と自然と歴史と食の幸)を活用した催しを一体的に情報発信する取り組み。 期間:10月中旬から11月中旬までの一か月間。 作成物:ポスター、チラシ、ホームページ、CA TV・文字放送等 その他、PRイベントの実施

(2)事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動					
	24年度実績(24年度に行った主な活動) ・連絡会開催、関係者調整 ・情報発信 ・神さま会議などの事業実施	25年度計画(25年度に計画する主な活動) ・連絡会開催、関係者調整 ・情報発信 ・神さま会議などの事業実施				
	② 活動指標	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)
	ア ホームページアクセス数	件			5,897	7,000
	イ 連携するイベントの数	件			9	12
	ウ					
	エ					

(3)事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)
	①市民 ②市外の人	ア 人口(推計人口)	人	41,917	41,159	40,548	40,440
		イ 年間観光入込客数	万人	88.5	95.0	96.6	97.0
		ウ					
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)	
①イベントに参加する ②HPにアクセスしてもらう	ア 関係イベントへの参加者数	人			13,740	16,000	
	イ ホームページアクセス数	件			5,897	7,000	
	ウ						

(4)事務事業のコスト

① 事業費の内訳(24年度決算)	② コストの推移	単位	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(計画)	
報償費 139千円 旅費 116千円 需用費 61千円 役務費 240千円 委託費 2,504千円 (神さま会議運営委託、サイト改修) 使用料 10千円 合計 3,070千円	財源内訳 事業費 人件費 トータルコスト(A)+(B)	国庫支出金	千円				
		県支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円			3,070	1,000
		一般財源	千円				
		事業費計(A)	千円			3,070	1,000
	正規職員従事人数	人			3		
	延べ業務時間	時間			400		
	人件費計(B)	千円			1,567		
	トータルコスト(A)+(B)	千円			4,637		

(5)事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
雲南ブランド化プロジェクトで取り組んでいる事業が市内に定着する一方で、新たに情報発信をし、活動を更に多くの市民に広げるための「見える化」が改めて課題となっている。	単体のイベントでは情報発信力が弱いので、連携することによって情報発信の機会を増やした。 ・松江市、出雲市でも以前から神在月キャンペーンを行っているため、その取組との差別化が必要であった。	・H23年12月議会でも市内各地で実施される秋イベントの集約化を求める意見があった。

事務事業名	雲南ブランド化プロジェクト(うんなん幸あり月)	所属部	政策企画部	所属課	政策推進課
-------	-------------------------	-----	-------	-----	-------

## 2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？	見直し余地があるとする理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒	
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である * 余地がある場合⇒	
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒	
B 有効性	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方はないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない	理由 準備期間が短く周知期間が限られたが、今後は十分に準備、周知期間をとりたい。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	
	<input type="checkbox"/> 影響無 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有	理由 今回初めて行ったが、取組の趣旨については一定の理解が得られ、成果も上がった。それぞれのイベントの効果をあげるためにも必要である。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？	
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒ <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない	(具体的な手段や類似事業名) ふるさと祭りとのタイアップなどを検討していくこととしている。
	<input type="checkbox"/> 他に手段がない	理由
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある <input type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 取組を整理し、市民活動との連携を強め、事業費削減を図りたい。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある <input type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 民間主導による運営団体やボランティア団体などの多様な参加により削減を図りたい。
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？	
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 公平・公正である	理由 市内には誇るべき事業が多くあり、今後は雲南ブランドにふさわしい地域のイベントを合わせて発信したい。
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果	② 1次評価結果の総括(根拠と理由)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり C 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり D 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	チラシ、ポスターづくりに予想以上、手間がかかり、結局、直前に完成し、十分な告知が出来なかった。各イベントごとの「幸」にスポットをあてることによって、「幸」の整理と活用について、一石を投じられたと考える。

## 3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																							
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>●</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> <p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上	●			維持			×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上	●																						
	維持			×																				
	低下		×	×																				
<p>○雲南の「幸」にこだわりながら、全国に発信できる企画にする。</p> <p>○期間中のイベントを募集し、多くの市民参加を得る。</p> <p>○テレビ、ラジオ、SNSなど多様なメディアを活用し、情報発信力を高める。</p> <p>○事業運営する組織を強化、育成する。</p>																								